

特集

★次期選挙は議員定数16人 → 14人

議会を目指して みませんか？

(P2～3に掲載)

議会だより
さつま

令和6年

78

8月1日発行

- 特集 議員報酬と議員のなり手不足を考える・・・P2～P3
- 条例、補正予算の概要・・・・・・・・・・・・・・P4～P5
- 常任委員会審査の概要・・・・・・・・・・・・・・P6
- 審議議案と議員の賛否・・・・・・・・・・・・・・P7
- 一般質問（6人）・・・・・・・・・・・・・・P8～P14
- 防衛施設等調査特別委員会・・・・・・・・・・・・P15
- 議会活動・編集後記・・・・・・・・・・・・・・P16



《さつま町議会ホームページ》

令和7年4月執行予定 町議会議員選挙に向け、特別委員会で 議員報酬等を協議

議会活性化調査特別委員会では、議員のなり手不足対策の一つである議員報酬について、区公民館長と議会との意見交換会、商工会役員と議会との意見交換会、議員への個別調査、町民アンケート及び参事や議会モニターの意見聴取等を踏まえ、見直しを協議してきました。

委員会としては主に、比較方式、原価方式、充当方式の3つの算定方法について意見が交わされたほか、勤労者世帯の世帯主定期収入の「月額33万円」、町職員の平均給与に近い「月額30万円」の案も上がりました。

採決は、委員から記名投票の要求があったことから、委員14人による記名投票により、原価方式による「月額27万7千円」と職員の平均給与に近い「月額30万円」で採決を行うこととなりました。

まず、原価方式による「月額27万7千円」が適当であると決定することについて、採決を行いました。

その結果、賛成が9人、反対が5人と過半数に達したことから、委員会として、次期選挙後の議員報酬額の適正額については、原価方式による「月額27万7千円」が適当であるとの結論に至りました。

特別委員会ではその他にも、勤労者世帯の世帯主定期収入の「月額33万円」や町職員の平均給与に近い「月額30万円」の必要性について意見があったことから、附帯意見として付記しました。

6月定例議会後、町長に対し、次期選挙後の議員報酬の適正額について、調査結果及び附帯意見の申し入れを行いました。

議員報酬については、今後、町長が町特別職報酬等審議会に諮問を行い、その結果に基づき報酬額が決定します。

改選後の議員報酬額
原価方式による
採決結果

●賛成(9人)

新改幸一議員
平山俊郎議員
橋之口富雄議員
上別府ユキ議員
森山大議員
平八重光輝議員
有川美子議員
上久保澄雄議員
柏木幸平議員

●反対(5人)

上園一行議員
中村慎一議員
古田昌也議員
岸良光廣議員
川口憲男議員

※掲載順は議席番号順
となっています。

また、委員長の新改
秀作議員と宮之脇尚美
議長は採決に加わりま
せん。

現行
236,400円
↓
改正案
277,000円

(改正額はまだ決定して
おらず、今後町特別職報
酬等審議会で審査を行い、
決定されます)

改選後の議員定数は
「16人」→「14人」

議会活性化調査特別委員会では、議員定数についても協議を行っており、令和5年3月24日の中間報告において、次期選挙の議員定数を「14人」が適当であると報告し、同日にさつま町議会議員定数条例の改正を行いました。

議員のなり手不足 を考える

令和5年4月に執行された統一地方選挙において、無投票・定数割れが増加するなど、町村議員のなり手不足が全国的な課題となっています。そこで今回令和7年4月に執行予定の次期さつま町議会議員選挙に向け、議員に立候補するための基礎知識をご紹介します。

町議会議員とは？

町議会議員は町民の代表として町政を行う議会、町議会における政治家です。任期は4年で、定数は現在16人、次回選挙からは14人となります。

町議会とは？

町議会は町民にとって最も身近な議会であり、地域の問題について解決策を考え、実践する場所です。

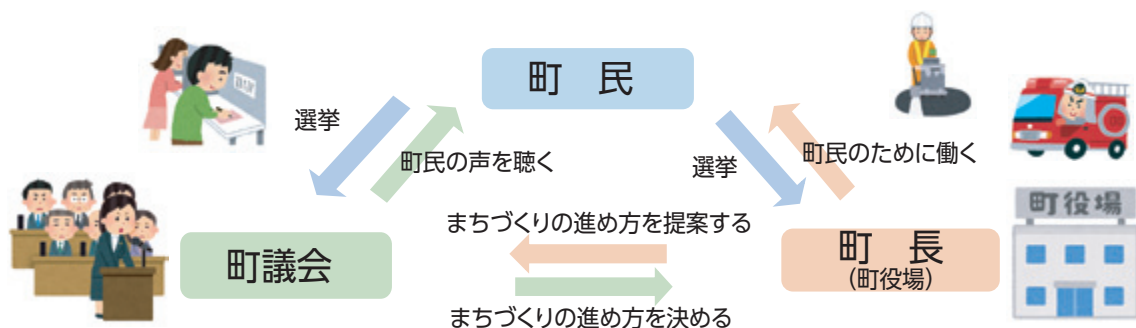
一般的に3月・6月・9月・12月の年4回の定例会（本会議）と必要に応じて招集される臨時会があります。

議員の活動内容は？

議員は、本会議や委員会などに出席し、住民を代表して町長などに質問することで町の政策を決定しています。議員の活動日数は本会議や委員会、各種会合等への出席などで年間約70～80日ですが、ほかにも議員独自で多くの活動をしています。

議員と町長の違いは？

町長は執行機関、町議会議員は議決機関という役割の違いがあります。議会で予算や条例を決めるのが町議会議員で議会の決定に沿って、予算の執行（住みよいまちづくり等）を行うのが町長です。



町議会議員の詳細については
こちらからご覧ください

町議会議員になるには
町議会議員の立候補の条件（被選挙権）は次のとおりです。

- ・ 満25歳以上
- （投票日現在）
- ・ 3ヶ月以上さつま町内に住所があり居住している。

※また、被選挙権を失う条件として、「禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者」などの条件があります。

- ・ 供託金を法務局に15万円預ける。
- ※預けた供託金は、立候補者の得票数が「有効投票者数÷議員定数÷10」未満であれば没収されます。

議員報酬の見直しに伴う主な算定根拠

比較方式

類似団体との比較により議員報酬を検討するもの。県内の類似団体において、人口の多い鹿児島市などや人口の少ない離島などの町村を比較対象から省き、人口1万人以上4万人未満の自治体16市町で比較検討しました。

原価方式

全国町村議会議長会の推奨モデル。首長の職務日数に対し、議員の活動日数がどれくらいあるかを割合で算出し、首長の給料を掛けたもの。議員も選挙で選ばれた公人ということで、首長と比較するのが適当であるという見解に基づくものです。

充当方式

議員定数が2人減となることを受け、2人分の議員報酬を14人に充当して増額するもの。

勤労者世帯の世帯主定期収入

令和元年の総務省統計局「家計調査年報」による、総世帯のうち勤労者世帯（平均世帯人員2.60人、世帯主の平均年齢47.8歳）の世帯主定期収入。世帯主収入から臨時収入・賞与を控除したもの。

全国町村議会議長会の調査・研究資料等



なり手不足対策について



議員報酬等について

令和6年度各会計6月補正予算額

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一 般 会 計 (1、2号)	4億3,080万円	145億280万円
特別会計 国民健康保険事業	200万円	28億2,062万円
企業会計 農業集落排水事業	22万円	6,728万円

※金額は千円単位を四捨五入

6月定例会

第2回(6月)定例会は、6月3日から6月21日までの19日間の会期で行われ、条例の一部改正2件、契約の締結3件、変更契約の締結2件、各会計の補正予算などを審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

補正予算の概要

※金額は千円単位を四捨五入

有害鳥獣対策事業費

2,579万円

シカ、イノシシ等をジビエ利活用し、地域資源として活用するため、町内に食肉加工施設を建設するための県補助金です。



保健衛生管理費

4,995万円

町民が安心して質の高い医療・介護を受ける事を目的に、川薩医療圏で「1地域1患者1カルテ」を実現するための補助金等です。



農林業継続緊急支援金交付事業

1,209万円

凍霜害により深刻な影響を受けた梅栽培農家に対する支援交付金です。



写真は過去の収穫時の梅

物価高騰対策支援給付金給付事業

2億2,511万円

物価高騰の影響を受けている低所得者等への給付及び定額減税を補足する給付に係る経費です。



移住定住促進事業費

1,900万円

若者や子育て世代等の移住定住人口の増加を図るため、民間賃貸住宅の建設等に対する補助金です。



エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費

1,834万円

町有施設への太陽光発電設備の導入可能性調査や再生可能エネルギーについて、理解促進を図るための普及啓発イベントの開催等に係る経費です。



どう変わった 我が町の条例

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

会計年度任用職員に対し新たに勤勉手当の支給が可能となったことから、育児休業をしている会計年度任用職員に係る勤勉手当の支給の取扱いについて条例の一部を改正するものです。

税条例の一部改正

地方税法等の一部を改正する法律が令和6年3月30日に公布されたことに伴い、関係するさつま町税条例の一部を改正するものです。

その他の議決事項

中津川小学校大規模改造工事請負契約の締結

令和6年4月に再編により誕生した、薩摩小学校の校舎の改修を行うものです。

■契約金額
2億4682万円

68000円

■契約の相手方
末廣・薩摩工務店特定
建設工事共同企業体

※本工事は薩摩小学校の校名決定前に事業化を行っております。



改造工事を行う薩摩小学校（旧中津川小学校）



し尿汲み取り作業車のイメージ
（パンフレットより）

し尿汲取作業車購入 契約の締結

老朽化した環境センターのし尿汲取作業車（2トン車）を最新式のものに更新するものです。

■契約金額

886万6000円

■契約の相手方

株式会社南九州日野
自動車川内支店

浅井野泊野線1号箇所工事請負変更契約の締結

令和4年に発生した林道災害箇所の復旧工事に係る変更契約を行うものです。

■変更契約金額

5161万4000円

■契約の相手方

渡利建設株式会社

大俣道路災害復旧工事請負変更契約の締結

令和3年7月豪雨による道路災害復旧工を行うものです。

■変更契約金額

9106万円

■契約の相手方

薩摩建設株式会社

消防団水槽付小型動力ポンプ積載車購入契約の締結

購入後24年経過している平川分団消防ポンプ自動車最新式のものに更新するものです。

■契約金額

2101万円

■契約の相手方

株式会社KSB

■乗車定員

6人

専決処分

1件の専決処分を議会で承認

令和6年4月1日からの個人住民税の定額減税の実施や国民健康保険の賦課限度額及び軽減判定所得の改正等により、さつま町税条例及びさつま町国民健康保険税条例の一部改正が行われました。

どうなった！あなたの陳情

陳情1件を審査しました

採択

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情について

◎陳情者

武 さとみ氏

◇意見書

中・高等学校で35人学級の早期実現、複式学級の廃止、学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するための加配職員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善の推進など6項目に関する意見書を国の関係機関に提出しました。

総務厚生
常任委員会
6月6日開催

さつま町職員の育児休業等に関する条例の一部改正など
議案5件を審査
委員会に付託された議案を全て可決

令和6年度一般会計
補正予算(第1号)

防衛施設等誘致事業
(56万6千円)

問 薩摩地区以外の住民に同様な防衛施設視察研修等の機会を設ける考えはないか。また、今回の地域住民との意見交換会及び研修視察は人選をどのように行うのか。

答 今回、薩摩地区の3公民館の代表の連名で町へ研修視察の要望書が提出されたことにより、研修視察費用としてバス借り上げ料等を予算計上した。他の地域も要望等があるかもしれないが、今回は薩摩地区から要望を受けての措置である。今

医療・介護患者情報
連携強化事業費
(498万5千2千円)

問 「1地域1患者1カルテ(※)」は、まず川薩地区から始め、今後、県全体に広げていく考えか。

答 川薩医療圏内の中でも薩摩川内市が令和5年度運用を開始し、今年度からさつま町も参加することとなる。将来的に、範囲をさらに大きくしたいという考えがあり、他医師会等との協議も行っているようである。

答 本事業に取り組むということは公表されており、様々な事業者から事業の紹介等を受けている。情報収集を行い、関係課と協議し事業を進めていく。

※1地域1患者1カルテ：同一医療圏内において複数の病院や診療所、薬局などで電子カルテシステムの情報を共有できるようにすること。

文教経済
常任委員会
6月6日開催

令和6年度さつま町
一般会計補正予算
議案1件を審査
委員会に付託された議案を可決

民間賃貸住宅建設等
促進補助金
(1900万円)

問 民間賃貸住宅建設等促進補助金の申請状況は。

答 現在、不動産事業者等の6社から計70戸分の申請を受け付けている。内訳は2LDKのファミリータイプが9戸、1LDKの単身者・新婚者向けが6戸である。このほか、約110戸分の建設について相談を受けており、現時点で180戸程度の賃貸住宅建設の計画が進行している。



さつま町特産の梅

農林業継続緊急支援金
交付事業
(1209万円)

問 梅の凍霜害の被害状況は。

答 町内の青梅は7、8割が凍霜害を受けた。梅加工品についても来年度以降、影響が出ると思われるため、肥料農薬の一部を支援して経営安定を図りたい。

鳥獣被害防止
総合対策交付金
(2579万2千円)

問 ジビエ処理加工施設完成後のジビエ販売計画は。

答 事業主体である「ダブルビーゼット株式会社」の自社通販サイトをはじめ、ヤフーやアマゾンでのネット販売、全国の飲食店への販売を計画している。

どのような採決を？

6月定例会 審議議案と議員の賛否																	
上程議案・概要・結果 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・認定・採択 賛多…賛成多数で可決・認定・採択 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択 賛無…賛成無しで否決・不認定・不採択	結果	新 改 幸 一	平 山 俊 郎	上 園 一 行	橋 之 口 富 雄	中 村 慎 一	上 別 府 ユ キ	森 山 大	新 改 秀 作	平 八 重 光 輝	有 川 美 子	古 田 昌 也	岸 良 光 廣	上 久 保 澄 雄	川 口 憲 男	柏 木 幸 平	宮 之 脇 尚 美
令和6年度 さつま町補正予算																	
一般会計補正予算(1回目) 1億9,899万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計補正予算(1回目) 200万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業会計補正予算(1回目) 22万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(2回目) 2億3,181万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正・人事・その他																	
さつま町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 地方自治法の一部改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町税条例の一部改正 地方税法等の一部改正に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町環境センターし尿汲取作業車(2トン車)購入契約の締結 し尿汲取作業車の更新によるもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中津川小学校大規模改造工事請負契約の締結 教室棟の改修によるもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年林道災害復旧事業浅井野泊野1号線箇所工事請負変更契約の締結 変更契約に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5災第2号大俣線道路災害復旧工事請負変更契約の締結 変更契約に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町消防団水槽付小型動力ポンプ積載車の購入契約の締結 平川分団消防自動車の更新によるもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情																	
陳情第4号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の陳情(P5関連記事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は議事進行を行うため賛否の表明はしません。

(注)議長は議事進行を行うため賛否の表明はしません。

議会を
傍聴しませんか

本会議と委員会の模様は、議場や委員会室で傍聴できます。また、本会議はインターネットでライブ中継を視聴できます。議会傍聴の際は予約不要です。ただし座席に限りがありますのでご了承ください。また、議会中継は両支所でもご覧いただけます。



傍聴時の注意点



一般質問

町政を問う



一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねるものです。

単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の提言をする議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっており、6月定例会では6人の議員が一般質問を行います。

川口 憲男(9 ページ)

- ・健康づくりの推進策について

新改 秀作(10 ページ)

- ・町合併20周年について
- ・近隣の工場進出について
- ・地域コミュニティ・スクールについて

古田 昌也(11 ページ)

- ・町有財産について
- ・少子化対策について
- ・情報周知の取組について

有川 美子(12 ページ)

- ・町外高校への遠距離通学及び町外寮生への補助金交付について
 - ・し尿汲み取り費の支払い方法について
- 他1件

柏木 幸平(13 ページ)

- ・再犯防止推進計画について
- ・ヤングケアラーについて
- ・部活動の指導体制について

上別府 ユキ(14 ページ)

- ・(仮称)こども館構想について
- ・認定農業者補助金について

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

令和6年第3回(9月)定例会は9月5日開会予定です。

9月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
8/25	28	27	26	29	30 祝日	31
9/1	2 七夕	3	4	5 本会議 (開会式)	6	7
8	9 本会議 (一般質問)	10 委員会 (総務)	11 委員会 (民生)	12 委員会 (環境)	13 常任委員会	14
15	16 秋分の日	17	18	19	20 秋分の日	21
22	23 秋分の日	24	25 本会議 (閉会式)	26	27	28

日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(24-8911もしくは53-1111)にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット(YouTube)で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。



川口 憲男 議員

健康増進

健康づくりの推進策は

町長／関係機関と一体で実施



川口議員の一般質問は
こちらから視聴できます

問 「第3次健康さつま21」が策定されたが、第2次計画を踏まえ、基本理念である「健康いきいき」「元気さつま」の実現に向け、一歩二歩進んだ取組とされているのか。また、一人ひとりが意識を持って取り組む、行政と地域が一体となった推進は。

答 本町では平成17年度に町民一人ひとりの主体的な健康づくりを地域全体で支援する「健康さつま21」を策定し、健康づくりを支援してきた。本年3月には新たに「第3次健康さつま21」を策定し、子どもと高齢者の健康に加え、働く世代や女性の健康に関する施策を盛り込み、幼児期から高齢期まで「人の生涯を経時的にとらえた健康づくり」を進めるため、町民一人ひとりはもちろん、地域や医療、学校、事業者と一体となった推進を図る。

問 生活習慣の改善、生活習慣病の発症・予防、重症化予防等健康増進の推進にいかに関わり、改善を図る考えか。また、健康づくりの町として、きめ細やかな行政対応が大事と思うが、早期発見・治療の推進を更に広く広報すべきでは。

早期発見・治療の推進を 町長／ 検診や報告会の実施で



町内を回る特定健診車

答 健康寿命の延伸を図るため、自分の健康は自分で守ることが基本であり、重要である。早期発見や早期治療につながるための特定健診やがん治療等を推進。また、結果報告会等において保健師等による聞き取りや健診結果を総合的に判断し、実効性のある指導やきめ細やかなアドバイスを実施。また、結果報告会に参加されない方には、訪問や電話による指導を実施している。



令和6年3月に策定された
第3次健康さつま21
(詳細は右側QRコードを
ご確認ください)



問 人口減少社会において、さつま町でも限界集落や町の消滅可能性について話を聞く。SDGsでは、その個人の健康を支えるため、社会全体で健康づくりに取り組むとされているが、このような時代に、健康寿命を延ばすためにも「健康さつま21」の取組は有効かつ町の発展にもつながると期待するが、町民への普及啓発は。

町民への普及啓発は 町長／ あらゆる機会でも周知

答 町民への普及啓発は、「健康さつま21」の概要版を作成し、5月2日に全戸配布を行った。今後も広報紙などあらゆる機会において、町民へ周知啓発を行っていく。



新改議員の一般質問は
こちらから視聴できます

政策評価

合併20周年の効果は

町長／広域的なまちづくり



新改 秀作 議員

問

3町が合併して
来年で20周年を迎
えるが、これまでの歩
みをどのように評価す
るか。また、合併の効
果は現れたか。

答

鳥インフルエン
ザや豪雨災害、新
型コロナ等緊急対応が
多い20年間であった。
高齢化率も42・8%と
少子高齢化が進むが、
生活面では、北薩横断
道路の泊野道路と広瀬
道路の開通により人流
や物流など交通便利性
も大きく向上した。教
育面でも再編が進めら
れた結果、児童生徒の
教育環境が大きく向上
したと考えている。
合併の効果に関して
は、県内町村で最も大
きな自治体のスケール
メリットを生かし、行
財政基盤の強化や最適
化、広域的なまちづく
りに取り組んできた。

問

人口戦略会議の
報告書によると、
さつま町は消滅可能自
治体に入っているとの
報道があり、町民も不
安視している。今後こ
の危機を乗り越える政
策は考えられないか。

答

人口減少、少子
化問題は最重要課
題であると認識してい
る。18歳までの子ども
医療費の無償化、保育
料の無償化、給食費の
助成、移住定住施策の
拡充、婚活支援や出産
・子育て支援等に取り
組んでいる。健全財政
を念頭に引き続き事業
に取り組む。

問

令和7年4月は
町長選挙であるが、
町長の出馬意向はどう
か。

答

残された課題解
決を最優先に考え
ながら任期を全うする
ことに、全力を注いで
ゆく。

人材確保

隣県工場進出の影響は

町長／現在影響はなし

問

熊本県内に半導
体工場が進出した
が、地元企業や県内企
業にどのような影響が
出ているのか。また、
労働者の流出はないか。

答

台湾の半導体企
業が熊本県内に進
出し、第1工場は今年
度操業開始。第2工場
も計画されているが、
県内企業には若干の人
的な影響が出ているよ
うだ。本町においては
現在のところ影響はな
く、労働者の流出も確
認されていない。

地域共生

コミュニティスクールは
教育長／
地域活性化につなげる

問

学校と地域で予
どもたちの成長を
育む、地域「コミュニ
ティ・スクール」について、
さつま町の具体的な構
想をどのように考えて
いるか。

答

学校が目指して
いる「社会に開か
れた教育課程」を実現
するために、「地域と
共にある学校づくり」、
「学校を核とした地域
づくり」に取り組む。
また、さつま町の人的
環境、自然環境を活か
しながら、「さつまっ
子」の育成に取り組む。



さつま町で開催された
コミュニティ・スクールフォーラムinSATSUMA



古田 昌也 議員

跡地活用

ニーズに合う活用法を

町長／適正な対価で対応



古田議員の一般質問は
こちらから視聴できます

問

3月議会で学校跡地等利用促進条例が制定され、民間企業などが活用しやすくなった。しかし、賃借料などの決め方が曖昧な数字になるのはなぜか。また、別の公有財産も含めて民間のニーズに合った柔軟な形を取って譲渡や賃貸はできないのか。

答

賃借料については建物等の経過年数により、残存額が変わるものであり、条例に沿った積算方法である。民間ニーズに合った柔軟な形を取った活用や譲渡については、町の大切な財産であるので基本原則として適正な対価で対応する。

ニーズ調査

子どもに投資を

町長／

きめ細やかな対策に着手

問

本町もこれまで様々な施策を実施し、成果も出ている。しかしながら不十分な点も実際ある。保育料完全無償化のような施策にもっと進取果敢に取り組み、また総合グラウンドへの400メートルタータン（※）設置などスポーツ環境整備に投資をしないのか。

答

私のマニフェストにも掲げている「さつま町で産み、育て、安心して暮らせるまちづくり」の実現のためにきめ細かな、子育て支援などを取り組んでいる。今年度は子育て世代へアンケートを行い、そのニーズを事業計画に反映していく。また、総合グラウンドへの400メートルタータンの整備についても、関係競技団体及び関係課との協議や意見聴取を進め、調査研究をしていきたいと考える。

※タータン：

陸上競技で使われるタータントラックを指す。タータンとは合成ゴムのことであり、水はけがよく、濡れても滑りにくいいため雨天時でも競技が可能である。

跡地活用の検討が進む旧薩摩中学校

情報周知

予算を付けて発信を

町長／

多様な手法を検討

問

本町として必要なところに必要なが情報が届く事は、もちろん必要だが、不特定多数の方に町の施策など、情報が届くように、しっかりと予算を確保し、町内外に大々的にアピール、また、積極的な情報発信をしないのか。

答

情報発信の重要性は十分に認識している。本年4月に機構改革の中でも一元的な情報発信ができる体制を整えた。また、情報発信後の意見を聴く機会を広げるために本年度パブリックコメントの制度化も進めている。来年3月22日は、町政施行20周年を迎え、町を挙げて記念事業を実施するように準備をしている。その意味でも、積極的な情報発信をしていく。



町公式LINE（イメージ）



町公式LINE登録は
こちらから



有川議員の一般質問は
こちらから視聴できます

いづも政策

町外高校通学へ補助を

町長／今後支援を検討する



有川 美子 議員

問 公共交通機関であるバスの減便やスクールバス廃止等、個人では対処できない事情により、保護者による送り迎えの増加やバス通学時間が延びている。実態の把握は。

答

社会情勢の変化等によるバスの減便やスクールバス廃止等により、生徒はもちろん保護者においても身体的、経済的負担が増加している状況。国・県の補助制度を活用し、関係自治体と連携して路線の維持、存続に努めている。今後更なる減便・廃止に繋がらないよう広域的に連携し取り組む。



減便の進む路線バス

問 地元高校に通学すると通学費補助や寮費支援補助等の手厚い補助があり、町外から通学する生徒へも補助している。本町の子ども達で、町外への通学並びに寮生へも同様に補助金を交付する考えは。

答

本町と地域、地元高校が一体となり特色ある学校づくりを共に目指すことで、地域の活性化、地域に根差した人材育成としての期待もあり支援を実施している。町外高校へ通学する生徒、寮生等への支援については限られた財源の中だが、総合的な子育て支援政策として今後検討していく。

※その他の質問
・消費生活相談窓口
の移設について

現金納付以外の対応は

町長／課題整理し検討する

公金徴収

問

し尿汲み取りで現金徴収以外の方をを検討してこなかったのか。また、口座振替払いやクレジット・電子決済等での支払いを可能にするために検討すべき事項は。

答

対象世帯数は約2400世帯で、年間1万2千件の汲み取りを実施。これまでも口座振替やコンビニ納付への問い合わせがある。現在、し尿処理に関する管理システムを未導入のため対応できないが、課題も整理しながら多様な納入方法を選択できる環境整備を検討していく。

包括支援

ワンストップ窓口を

町長／丁寧な対応をしていく

問

本年4月「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（いわゆる女性支援新法）が施行された。女性からの複合的な相談にどのように対応しているのか。

答

はじめに相談を受けた窓口で丁寧にお話を伺いながら、相談内容や本人希望によつては、関係部署や応対する職員、場所を変えながら対応している。

問

社会福祉法に基づき重層的支援体制の早期整備が望まれるが、今後の計画は。

答

令和5年度策定の第2次さつま町地域福祉計画で、事業整備を計画。現在、障がい者の総合的相談に対する基幹相談支援センターの設置を進めており、設置後、順次検討を進めていきたい。





柏木 幸平 議員

防犯施策

再犯防止推進計画は

町長／来年度を目途に取り組む



柏木議員の一般質問は
こちらから視聴できます

問

「再犯防止推進計画」については、再犯防止推進法において責務が国だけでなく地方公共団体にもあることが明記され、都道府県及び市町村で「地方再犯防止推進計画」を策定する努力義務が課されている。県内では既に計画策定をされた市町もあるが、本町の再犯防止推進計画の取組はどうか。

答

本町では「第2次さつま町地域福祉計画」の基本目標、誰もが安心して暮らせる仕組みづくりに位置付けているが、計画としては策定していない。このため「第2次さつま町地域福祉計画」の中で、一体として取り組むことが出来るよう、「さつま町再犯防止計画」の策定を検討する。

問

本町にとっても再犯防止と町民の犯罪被害を防止する観点から、検討でなく早めの策定が必要ではないか。

答

来年度を目途に取り組む。

児童福祉

ヤングケアラー実態は

教育長／

断定案件は無いと認識

問

大人に代わって子どもが日常的に家事や家族の世話をしているのがヤングケアラーである。鹿児島県においては令和4年度にヤングケアラーの調査をしたが、本町の調査結果はどうだったのか。また、本町のヤングケアラーの現状と今後の対応についての考えは。

答

令和4年度県の調査では、本町の小学校1校1クラス、中学校の各学年から1クラスずつ行われたが、支援を求める内容は確認されなかった。現在、町内ではヤングケアラーと断定される案件は無いと認識しているが、判断に迷う案件が1件ある。町教育委員会としても、関係機関や地域の方々と連携し、情報共有をして、協議・対策を講じたい。



部活指導

部活動の指導体制は

教育長／

指導者が研修会に参加

問

運動系部活動などで指導者が、生徒への一方的な不適切行為によるスポーツハラスメントを報道等で見聞きし心配する。新年度における宮之城中学校の指導体制はどうか。

答

部活動における適切な指導を進めるため、県教育委員会主催の「学校部活動及び地域クラブ指導者研修会」に経験の浅い顧問教員や地域クラブの指導者を参加させた。

問

部活動の地域移行については、様々な課題があると思うが、検討委員会の進め方は。

答

検討委員会においては今後の方針や指導者の確保、剣道クラブの活動から見えてきた課題等を様々な角度から検討を重ねたい。国や県の動向も注視しながら、必要な支援やサポートについて検討する。



大会に参加する剣道クラブSAS-SYU～薩州～
(北薩2市1町の3中学校生徒が在籍する)



上別府議員の一般質問は
こちらから視聴できます

いづも政策

(仮称)こども館構想は

町長／こどもルームを開設



上別府 ユキ 議員

問

子育て環境の充実に向け、新たに宮之城ひまわり館内に子育て拠点として(仮称)こども館を開設されるが、こども館構想はどういうものか。

答

子育て中の親子が雨の日でも遊び、交流ができる場を通じて、仲間づくりや相談ができ不安解消を図るために、専門の支援員等を配置。町の子育て拠点として業務委託により、ひまわり館内の一室に「こどもルーム」を早期に開設する。



こどもルームの設置される宮之城ひまわり館

人口対策

歯止めはいつ?何人に

町長／
60年、人口1万人維持を

問

本町の出生数はここ数年、70〜80人と人口減少の大きな要因である。「人口減少に歯止めをかける」と言われるが、いつの時点でどのくらいの人口を目途に歯止めをかけるのか。

答

人口減対策は、本町において最重要課題であり、長期的・多角的に継続し取り組んでいく。子ども・子育て対策、移住定住促進対策の双方から展開している。人口ビジョンとして、2060年に人口1万人を維持することを目標にしている。



ひまわり館内で開催される育児サークル



子育て支援情報や育児サークルや育児相談等はこちらをご覧ください

農家支援

認定農業者助成に枠を

町長／

園芸農家枠設定は困難

問

園芸農家などは栽培面積拡大や飼育増頭などでポイントが稼げない。点数制だけでは足りない園芸農家などの枠を設定できないか。

答

本町では、農業における中心的な経営体を確保育成していく支援を行っている。国や県の補助金制度は非常にハードルが高い

ので、より細やかな支援策を図るために「認定農業者支援事業」を設け補助を行っている。審査会で公平性を保つため、配分基準項目に準じたポイント加点を先行採択決定している。容易に規模拡大できる営農類型(※)と比較して園芸農家が不利というものではない。園芸農家枠を限定した枠設定は、現在難しいところである。

※営農類型…

与えられた自然条件、社会経済条件、経営者の個人事情等によって、生産物の作目と加工の種類とその組み合わせのあり方(経営組織)、そして各経営部門および経営全体の規模と集約化の程度といった農業経営形態がある程度類型化したもの。



陸上自衛隊 2施設を研修視察

令和6年5月14日、15日にさつま町議会防衛施設等調査特別委員会の研修視察として、佐賀県神埼郡吉野ヶ里町の陸上自衛隊目達原駐屯地九州補給処と大分県大分市の大分分屯地九州補給処大分弾薬支処への現地視察を行いました。

目達原駐屯地は、九州から沖縄までの各部隊に対する物資の補給保管、車両等の整備を行っており、今回、物資倉庫の保管状況や整備工場での点検作業を見学しました。

地域との連携については、地元・吉野ヶ里町との情報交換や自治体の防災会議への参加、各種イベントへの協力をしており、駐屯地の創立記念行事では、一般開放して車両の体験試乗をするなど地域住民との交流を深めているとのことでした。

次に、大分分屯地大分弾薬支処の業務は、弾薬等の補給・保管・整備・検査及び回収で、外部で製造された弾薬を施設内の弾薬庫で保管しています。大分分屯地では、地上式と地中式の弾薬庫が設置され、保安距離（学校や病院等の施設までの距離）は法令に基づき十分確保しているとのこと。また、保管している弾薬は、定期的に点検し、少しでも劣化等があれば処分するなど、安全管理に細心の注意を払っており、これまでに事故は発生していないとのこと。

近年は弾薬等が大型化しており、運搬する際はクレーン設備が必要となりますが、古い施設の場合、クレーンの荷重に耐えられないことから、全国的に弾薬庫の新設、増設が進められているとのこと。



整備工場の視察（目達原駐屯地）

今回の研修視察を通じて、陸上自衛隊隊員の任務に対する真摯な姿勢を確認できました。

本町では令和6年6月11日から、防衛省による中岳周辺での適地調査が開始されました。

当特別委員会としては、今後も国や町と情報共有を行いながら、町民に向けた情報発信に努めてまいります。

薩摩地区住民による 防衛施設の視察研修も計画

6月定例議会で、防衛施設等誘致事業（56万6千円）が補正予算として計上されました。これは、薩摩地区の住民による防衛施設立地地域住民との意見交換及び防衛施設の研修視察に係るバス借り上げ料等（住民参加者の宿泊費や食糧費は含まれない）です。

質問

①薩摩地区以外の住民に対し、研修視察の機会を設ける考えはないか。

②町民への丁寧な説明という意味で、町内の全公民館長に対して防衛施設研修視察を実施することも大事なことでないか。

回答

総務厚生常任委員会の審査の中で、主に次の2点について確認しました。

①今回は薩摩地区（中津川・永野・求名）から要望を受けての措置である。今後、他の地区から相談があった場合、その必要性をよく検討し、必要であれば対応を行いたい。

②まず、今回薩摩地区の住民に視察していただき、その状況を踏まえ全館長に呼びかけを行うか検討したい。



議 会 活 動

22日	11日	8日	7月1日	6月21日	6月3日	21日		20日	15日	14日	9日	5月1日	4月30日	令和6年
町議会議員単独議員研修会	鹿児島・大口幹線道路 整備促進期成会総会	北薩横断道路整備促進 議員期成会総会	ダブルビーゼット(株) 立地協定調印式	及び 各常任委員会等	第2回定例会(6月議会)	議長・副議長研修会	全国町村議会議長会 整備促進期成会総会	北薩空港幹線道路 整備促進期成会総会	(目達原駐屯地・大分分屯地) 研修視察 関連記事P15掲載	県町村議会議長会議員研修会 防衛施設等調査特別委員会	川内宮之城道路建設 促進期成会総会	川内川下流改修 促進期成会総会	国道328号紫尾峠トンネル 整備促進期成会	



議員単独議員研修会(ハラスメント防止研修)
(7月22日)



北薩横断道路整備促進議員期成会 現地調査
(7月8日)

編集後記

現委員による議会だよりの編集は、今号を含めて残り3回となりました。

今月号では特集ページにて、議会活性化に向けた議論の経緯や防衛施設の視察報告、そして来年4月の改選に向けた情報提供と多岐に渡る記事を掲載するように編集しました。議会情報は難しいようですが、読んでみると自分の暮らしに関わる情報ばかりで興味深い記事があると思います。わが町のことを更に奥深く知るきっかけに、どうぞ議会だよりをご活用ください。

(有川美子)



議会広報特別委員会による
議会だよりの編集

議会広報特別委員会

委員長 有川 美子
副委員長 平山 俊郎
委員 橋之口 富雄
委員 上別府 ユキ